

# 第1回 伊勢市特別支援教育推進会議 報告

開催日時 令和8年7月21日 14:00～

場所 小俣総合支所大研修室

## 1 会議での報告内容 概要

- (1) 伊勢市特別支援教育推進事業について
- (2) 令和8年度伊勢市の特別支援教育に関する取組について
  - ①伊勢市特別支援教育コーディネーター会議について
  - ②個別の教育支援計画について
  - ③巡回相談について
  - ④授業のユニバーサルデザイン化推進事業について
  - ⑤学習支援員研修及びオリエンテーションの紹介
  - ⑥研修会の開催について
  - ⑦副次的な籍の導入に向けて
- (3) 各課との連携について

## 2 委員からの意見まとめ

### <特別支援教育コーディネーター会議について>

- ・関係機関の紹介があったり、中学校区の先生方と情報交換することができたりして、児童生徒の支援に活かすことができています。

### <巡回相談について>

- ・度会特別支援学校では肢体不自由児への学級での支援・指導について助言を行っている。また、理学療法士とも連携しながら、巡回相談にあたっている。玉城わかば学園では、知的・情緒障がい児への学級での支援・指導について助言を行っている。市町の先生たちと一緒に、子どもたちの未来を見据えた取組を、今後も行っていく。

### <副次的な籍について>

- ・居住地校交流や共同学習については、特別支援学校と協力して行っている。副次的な籍の導入は始まったばかりなので、副次的な籍があることの良さを今後発信してはどうか。
- ・保護者にとっては、実際に交流が始まってみないと、副次的な籍や居住地校交流の良い点は分かりにくいので、丁寧な説明が必要である。
- ・副次的な籍の成果は、学校教育を修了した後に分かる。10年後を見据えたとき、特別支援学校の子どもたちが地域とのつながりを持ち続けられているのか、それが大切である。
- ・副次的な籍の好事例を集めることが、伊勢市の財産になるのではないかな。

### <進路選択について>

- ・幼保こから小学校への就学については、保護者と相談を行っている。就学を意識すると、どうアドバイスするか、悩むことがある。
- ・小学校から中学校への進路選択で悩む保護者がいる。進路先の学校での活動、その後の就労について等、保護者が安心できるような情報が欲しい。

- ・中学校から高等学校、特別支援学校高等部への進路についても、保護者は悩むことがある。大切なことは、中学校と高等学校・特別支援学校高等部の進路担当とがしっかりと話し合い、最終的に生徒にとって良い選択となるよう、動いていくことである。
- ・将来を見据え、子どもの成長を考えて、相談し、進めていくことが大切である。
- ・パーソナルファイルを、自分はこんな力をつけたい、こんなことが苦手だから支援をしてほしい、と伝えるツールとして使うのも良い活用法である。
- ・他市では、義務教育修了後の相談は、市役所の福祉総務課が窓口となっている。教育と福祉、分野をまたいで情報をつないでいる市もある。
- ・自立に向けたチェックシートの作成を検討している市もある。就労に向けて、こんな力をつけていきたい、とセルフチェックができたり、毎年のチェックによって、自分をふり返ることができたりする。

#### ＜他機関との連携＞

- ・5歳児健康診査がはじまり、様々な機関が連携し、子どもに応じた支援を行っていくべきである。

### 3 次回会議の予定と主な内容

日時 令和8年2月上旬 （日時について今後調整）

主な内容 令和8年度特別支援教育の取組、今後の伊勢市の特別支援教育推進について